

○総務省告示第百二十二号

電波法（昭和二十五年法律第百三十一号）第二十六条第一項の規定に基づき、周波数割当計画（平成二十四年総務省告示第四百七十一号）の一部を次のように変更する。

平成三十一年三月二十七日

総務大臣 石田 真敏

次の表により、変更前欄に掲げる規定の下線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する変更後欄に掲げる規定の下線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、変更前欄及び変更後欄に対応して掲げるその標記部分に二重下線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、その標記部分が同一のものは当該対象規定を変更後欄に掲げるもののように改め、その標記部分が異なるものは変更前欄に掲げる対象規定を変更後欄に掲げる対象規定として移動し、変更前欄に掲げる対象規定で変更後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削る。

変更後

変更前

第2 周波数割当表

[1～7 略]

周波数割当表

[第1表 略]

第2表 27.5MHz～10000MHz

[略]	国内分配 (MHz) (4)	無線局の目的 (5)	周波数の使用に関する条件 (6)
[略]	[略]	[略]	[略]
850～860 J 67	移動 J 68	一般業務用	デジタルMCA陸上移動通信用とし、930～940MHz帯と対の二周波方式に限る。
900～915 J 67	移動 J 68	電気通信業務用	携帯無線通信用とし、割当ては別表10-2による。
895～900 J 67	移動 J 68	一般業務用	高度MCA陸上移動通信用とし、940～945MHz帯と対の二周波方式に限る。

第2 周波数割当表

[1～7 同左]

周波数割当表

[第1表 同左]

第2表 27.5MHz～10000MHz

[同左]	国内分配 (MHz) (4)	無線局の目的 (5)	周波数の使用に関する条件 (6)
[同左]	[同左]	[同左]	[同左]
850～860 J 67	移動 J 68	一般業務用	MCA陸上移動通信用及びデジタルMCA陸上移動通信用とし、930～940MHz帯と対の二周波方式に限る。ただし、平成30年3月31日までは905～915MHz帯と対の二周波方式に使用することができる。
900～915 J 67	移動 J 68	電気通信業務用	携帯無線通信用とし、割当ては別表7-4による。
895～900 J 67	移動 J 68 J 95	一般業務用 簡易無線通信業務用	簡易無線通信業務用での使用は、平成27年11月30日までに限る。
		一般業務用	簡易無線通信業務用での使用は、平成30年3月31日までに限る。

[略]	[略]	[略]	[略]
930—940 J 67	移動 J 68	一般業務用	デジタルMCA陸上移動通信 用とし、850—860MHz帯と対の二 周波方式に限る。
940—945 J 67	移動 J 68	一般業務用	高度MCA陸上移動通信用と し、895—900MHz帯と対の二周 波方式に限る。
945—960 J 67 J 94	移動 J 68	電気通信業務用	携帯無線通信用とし、割当て は別表10—2による。
[略]	[略]	[略]	[略]

第3表 10GHz—275GHz

[略]	国内分配 (GHz) (4)	無線局の目的 (5)	周波数の使用に関する条件 (6)
[略]	[略]	[略]	[略]
50.4—51.4	固定 移動 固定衛星 (地球から 宇宙) 移動衛星 (地球から)	簡易無線通信業 務用 電気通信業務用 公共業務用	割当ては、別表7—4による 。

[同左]	[同左]	[同左]	[同左]
930—940 J 67	移動 J 68	一般業務用	MCA陸上移動通信用及びデ ジタルMCA陸上移動通信 用とし、850—860MHz帯と対の二 周波方式に限る。
940—960 J 67 J 94	移動 J 68 J 95	電気通信業務用 簡易無線通信業 務用 小電力業務用 一般業務用	電気通信業務用での使用は携 帯無線通信用とし、割当ては 別表10—2による。 簡易無線通信業務用での使用 は移動体識別用とし、割当て は別表7—5による。 簡易無線通信業務用、小電力 業務用及び一般業務用での使 用は、平成30年3月31日まで に限る。 小電力業務用での使用はテレ メーター用、テレコンtrolle ル用及びデータ伝送用並びに 移動体識別用とし、テレメー ター用、テレコンtrolle用 及びデータ伝送用への割当て は別表9—1に、移動体識別 用への割当ては別表9—10に よる。 一般業務用での使用は移動体 識別用とし、割当ては別表6 —2による。
[同左]	[同左]	[同左]	[同左]

第3表 10GHz—275GHz

[同左]	国内分配 (GHz) (4)	無線局の目的 (5)	周波数の使用に関する条件 (6)
[同左]	[同左]	[同左]	[同左]
50.4—51.4	固定 移動 固定衛星 (地球から 宇宙) 移動衛星 (地球から)	簡易無線通信業 務用 電気通信業務用 公共業務用	割当ては、別表7—6による 。

[略]	[略]	[略]	[略]
-----	-----	-----	-----

国内周波数分配の脚注

[ J 1 ～ J 94 略 ]

195 (未使用)

[同左]	[同左]	[同左]	[同左]
------	------	------	------

国内周波数分配の脚注

[ J 1 ～ J 94 同左 ]

195

905～915MHz及び950～958MHzの周波数帯において、電気通信業務用による移動業務の局は、2018年3月31日までは、この周波数帯を使用する他の移動業務の局に対し、有害な混信を生じさせてはならない。

[ J 96 ～ J 295 同左 ]

[ 別表 1 - 1 ～ 別表 6 - 1 同左 ]

別表 6 - 2 移動体識別用無線局の周波数表

[略]	2450MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備	2448.875MHz
-----	--------------------------	-------------

[同左]

952～956.4MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備

2450MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備

2448.875MHz

[ 別表 7 - 1 ～ 別表 7 - 3 同左 ]

別表 7 - 4 パーソナル無線の周波数表

903.0125MHz以上904.9875MHz以下の周波数であって、903.0125MHz及び903.0125MHzに25kHzの自然数倍を加えたもの並びに903.05MHz及び903.05MHzに25kHzの自然数倍を加えたもの

別表 7 - 5 移動体識別用簡易無線局の周波数表

954.2MHz

[ 別表 7 - 6 同左 ]

[ 別表 8 - 1 ～ 別表 8 - 10 同左 ]

別表 9 - 1 テレメーター用、テレコントロール用及びデータ伝送用特定小電力無線局の周波数表

[略]	1200MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備	占有周波数帯幅が8.5kHz以下	1216.00625MHz以上1216.99375MHz以下の周波数であって、1216.00625MHz及び1216.00625MHzに12.5kHzの自然数倍を加えたもの並びにこれに36MHzを加えたもの。この場合において、1216.00625MHz、1216.01875MHz、1216.50625MHz、1216.51875MHz、1252.00625MHz、1252.01875MHz、1252.50625MHz及び1252.51875MHzは、周波数制御
-----	--------------------------	------------------	--

[同左]	950MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備	占有周波数帯幅が200kHz以下	951MHz以上957.4MHz以下の周波数であって、951MHz及び951MHzに200kHzの自然数倍を加えたもの
	占有周波数帯幅が200kHzを超え400kHz以下の無線設備		951.1MHz以上957.3MHz以下の周波数であって、951.1MHz及び951.1MHzに200kHzの自然数倍を加えたもの

占有周波数帯幅が8.5kHzを超え16kHz以下の無線設備	1216.0125MHz以上1216.9875MHz以下の周波数であって、1216.0125MHz及び1216.0125MHzに25kHzの自然数倍を加えたもの並びにこれに36MHzを加えたもの。この場合において、1216.0125MHz、1216.5125MHz、1252.0125MHz及び1252.5125MHzは周波数制御用チャネルとする。
占有周波数帯幅が16kHzを超え32kHz以下の無線設備	1216MHz以上1217MHz以下の周波数であって、1216MHz及び1216MHzに50kHzの自然数倍を加えたもの並びにこれに36MHzを加えたもの。この場合において、1216MHz及び1252MHzは周波数制御用チャネルとする。

1200MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備	占有周波数帯幅が400kHzを超え600kHz以下の無線設備	951.2MHz以上957.2MHz以下の周波数であって、951.2MHz及び951.2MHzに200kHzの自然数倍を加えたもの
	占有周波数帯幅が600kHzを超え800kHz以下の無線設備	951.3MHz以上957.1MHz以下の周波数であって、951.3MHz及び951.3MHzに200kHzの自然数倍を加えたもの
1200MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備	占有周波数帯幅が8.5kHz以下1MHz以下の無線設備	951.4MHz以上957MHz以下の周波数であって、951.4MHz及び951.4MHzに200kHzの自然数倍を加えたもの
	占有周波数帯幅が8.5kHzを超え16kHz以下の無線設備	1216.00625MHz以上1216.99375MHz以下の周波数であって、1216.00625MHz及び1216.00625MHzに12.5kHzの自然数倍を加えたもの並びにこれに36MHzを加えたもの。この場合において、1216.00625MHz、1216.01875MHz、1216.50625MHz、1216.51875MHz、1252.00625MHz、1252.01875MHz、1252.50625MHz及び1252.51875MHzは、周波数制御用チャネルとする。

	<p>36MHzを加えたもの。この場合において、1216.0125MHz、1216.5125MHz、1252.0125MHz及び1252.5125MHzは周波数制御用チャネルとする。</p> <p>占有周波数帯幅が16kHzを超え32kHz以下の無線設備</p> <p>1216MHz以上1217MHz以下の周波数であって、1216MHz及び1216MHzに50kHzの自然数倍を加えたもの並びにこれに36MHzを加えたもの。この場合において、1216MHz及び1252MHzは周波数制御用チャネルとする。</p>
--	---

[別表9-2～別表9-9 略]

別表9-10 移動体識別用特定小電力無線局の周波数表

[1 略]

2 1以外のもの

<p>【略】</p> <p>2425～2475MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備</p>	<p>2448.875MHz</p>
---	--------------------

[別表9-11～別表11-3 略]

国際周波数分配の脚注

[注略]

<p>[別表9-2～別表9-9 同左]</p>	<p>36MHzを加えたもの。この場合において、1216.0125MHz、1216.5125MHz、1252.0125MHz及び1252.5125MHzは周波数制御用チャネルとする。</p> <p>占有周波数帯幅が16kHzを超え32kHz以下の無線設備</p> <p>1216MHz以上1217MHz以下の周波数であって、1216MHz及び1216MHzに50kHzの自然数倍を加えたもの並びにこれに36MHzを加えたもの。この場合において、1216MHz及び1252MHzは周波数制御用チャネルとする。</p>
-------------------------	---

別表9-10 移動体識別用特定小電力無線局の周波数表

[1 同左]

2 1以外のもの

<p>【同左】</p> <p>952～955MHz帯の周波数の電波を使用する無線設備</p>	<p>954.8MHz</p> <p>2448.875MHz</p>
--	------------------------------------

[別表9-11～別表11-3 同左]

国際周波数分配の脚注

[注同左]

備考 表中の「」の記載及び対象規定の二重下線を付した標記部分を除く全体に付した下線は注記である。